

～意欲的に学ぶ子 心をみがく子 すこやかな子～



はくさん

美守小学校
学校だよりNo. 8
令和6年11月21日



みんなでヨイショ!どんぐり収穫祭お餅つき(10月19日)

閉校まで、あと70日(11/21現在)

グラウンドから見える妙高山が雪化粧を始めました。10月19日、20日の閉校記念式典及び記念のどんぐり祭には大勢のお客様が来校され、懐かしいひと時をお過ごしいただきました。約1年半にわたって準備を進めていただきました実行委員の皆様、収穫祭を運営いただきましたPTAの皆様、盛り上げていただきました各種団体の皆様に心より感謝申し上げます。

早いもので、令和6年度、子どもたちが登校する日数を数えますと、残すところ70日(11月21日現在)となってしまうようになりました。これからは、全校での記念陶板づくり、里公小、上杉小、美守小の3校交流活動、校舎に残る文化財などの移管先検討など、新設三和小学校の開校に向けた準備を粛々と取り組みながら、子どもたちが安心して三和小学校での新生活をスター

トできるよう進めてまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。



琴の会 Sanwa による大正琴演奏

三和の自然と地域を育む会主催気球体験



三千香会による詩舞披露

三和中学校区同和教育推進の取組 No.4 講演会 『出会いと表現～あることをないことにしない～』

絆創膏の会 大湾 昇 (おおわん のぼる) 様



去る10月29日(火)、三和中学校を会場に、「人権問題、同和問題を学ぶ会」を開催しました。小学5年生から中学3年生までが参集し、「絆創膏の会」の大湾昇様の講演をお聴きしました。

大湾さんは、徳島県阿波市に生まれ、同和対象地区学習会専任指導員として母校の阿波市立八幡小学校に勤務されていました。2007年4月から同和問題をはじめとする人権教育講演会等で講師として全国で活躍中です。

今回の講演では、「当たり前」の中に潜む人権課題を分かりやすく、児童・生徒が自分事として考えられるようにお話してくださいました。日常生活の中で使っている「差別」「友達」「仲間」「人権」とは？と、言葉の意味を問われると、児童・生徒は自分で応えられるよう真剣に考えていました。

「差別」とは、「努力しても変えられないところ、変える必要のないところを、悪意をもって攻撃すること」と話されました。例えば、生まれたところや、病を患っていることは本人の意思にかかわらないことです。また、「人権」は「生まれながらにもっている幸せになる権利」です。

最後に、新潟県で出会った壮絶ないじめを受けていた少女の話をお聴きして、いじめの辛さを知り、いじめを許さない気持ちを高めました。

<感想(抜粋)>

●差別、いじめはやっても得をする人はいない。複数でいじめをしている人は、いざ一人になったら自分では行動できなかったり、他の人にまかせたり、時には味方とと思っている人を突き放したりするかもしれないので、人のことを何も考えていない最低な人間なのかなと思いました。

●この人にはきつくして、この人にはやさしくする、じゃなくて、みんなにやさしくできる人になりたい。



地域の皆様からも参加いただきました。
ありがとうございました。

<12月の予定>

- 4日(水) 4年生外国語交流(里公小)、2年生三校交流会(校舎見学)
- 5日(木) 3年生三校交流会(リージョンプラザ上越)、6年生人権擁護委員出前授業
- 9日(月) 閉校記念全校陶板づくり、3年生囲炉裏端でお話を聴く会(丸山酒造)
- 10日(火) 5年生三校合同人権擁護委員出前授業(里公小)
- 12日(木) 小出さん読み聞かせの会(高学年)
- 13日(金) 3,4年生 PTC 活動、学習参観(親子けんこうの日)、学年懇談会、新2,4,6年
学年委員選考会
- 14日(土) けんこうの日
- 16日(月) 通学班会議、下校指導
- 17日(火) 三和小学校保護者説明会(15:00～、17:00～) 会場:里公小
- 19日(木) 5限放課 一斉下校
- 23日(月) 2学期終業式
- 24日(火) 冬季休業日(～1月8日まで)